

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	防災訓練事業	会計名称	一般会計		担当課	危機管理課	
		予算科目	2 款 1 項 13 目	事業番号	481	所属長名	新田亮仙
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	丸本竜士	
法令根拠等	伊予市地域防災計画				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	防災意識の向上対策の推進						
事業の対象	市民			事業の目的	伊予市地域防災計画に定める災害応急対策を迅速かつ適切に実施できるよう技能の向上と住民に対する防災意識の啓発を図る。		
事業の内容 (整備内容)	伊予市総合防災訓練、県・市町災害対策本部合同訓練、土砂災害防災訓練、原子力総合防災訓練の参加、自主防災会主体での防災訓練支援			昨年度の課題に対する具体的な改善策	松山地方気象台に講師を依頼し、職員向けに、気象台が発表する様々な情報の読み解き研修を開催し、74人の参加を得た。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績	
直接事業費	485	332	0	0	0	247	総合防災訓練参加住民数	人	1554	1500	130	1194	
国庫支出金		0	0	0	0	0							
県支出金		0	0	0	0	0							
地方債		0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0							
一般財源	485	332	0	0	0	247	防災訓練実施自主防災会数	組織	39	35	3	34	
職員の人工(にんく)数	0.20	0.27				0.27							
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982			0				
※ 直接事業費+人件費	2,088	2,487				2,402							
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)										
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計			
					800	800	800	800		3,200			
成果指標	指標	総合防災訓練への参加住民の人数、防災訓練実施自主防災会数			単位	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標	毎 年度		
	組織				目標	65	65	65	65				
	指標設定の考え方	住民への防災意識啓発の浸透という観点から、防災訓練実施自主防災会数を成果指数とする。(全65組織中)			⇒	実績	39	34					
指標で表せない効果													

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		住民の生命を守ることを最優先の目的として避難訓練、避難者名簿作成訓練、ペット同行避難訓練、オストメイトに対する認識向上対策等を実施したほか、各地区自主防災会が中心となって体験プールの運営を行うことで、参加者だけでなく地域防災リーダーとしての意識向上にも繋げることができた。										
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が	S	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	地域からの要望に応じ、オストメイトに対する認識の向上を目的に、日本オストミー協会愛媛県支部と連携した対応を取ることができた。 また、総合防災訓練の検証を基に、小学校避難所初動対応マニュアルを作成する流れを構築し、今年度郡中小学校でマニュアルを作成することができた。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が				A		
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3							
	効率性	手段の最適性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A		ペットを連れて避難訓練に参加した方がおらず、ペットを連れて避難者に対する理解と協力を考える機会を参加者に促すには不十分であった。引き続きペット同行避難を実施すると共に、ペットを連れて訓練に参加いただけるよう更に啓発に努める必要がある。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4								
	一次判定 (所属長)	妥当性	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4	合計点が	S			事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 洪水や土砂災害が頻発し、加えて南海トラフ地震の発生が心配される中、訓練を通じて減災に向けた態勢を整えることが喫緊の課題であるとする。	
			目的の妥当性	5 4 3 2 1 概ね、施策の目的に沿った事業である。	5							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5							
有効性		市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。	5	合計点が	A						
		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4								
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3				14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
効率性	手段の最適性	施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	4	合計点が	A	所屬長の課題認識	災害発生時の初動対応や災害対策本部設置、業務継続など職員の災害対応力の強化を目的とした訓練の充実を図っていく。				
		社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
	コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3									
市民 (受益者) 負担の適正	目的の妥当性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A							
	社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
	コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練に参加したことがあるが、緊張感がないように感じられた。市民の意識を高める手法が必要だと思う。 ・日頃から付き合いのある人たちの避難行動が重要になるため、意識を高めるよう継続してほしい。 ・机上では難しく、実際に訓練することで、新たな課題も浮き彫りになる。住民の命を守るためにも継続して実施してほしい。 ・年に1回は実施する必要があるし、繰り返すことが大切だと思う。 ・指標設定や実績の測り方は今後の課題にしてもいいかもしれない。
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を行う。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を行う。	コメント欄 住民自ら命を守るという意識の醸成等を総合的に考えていく必要がある。さらに、自助、共助及び情報発信の強化を図ること。